



三農の農場には、外部からたくさんの方がいらっしゃいます。今回紹介するのは可愛らしい訪問者、カルガモの親子です。これは過去の画像なのですが、6月の下旬に現れたようです。もし見かけたら、優しく見守ってあげましょうね。



6月11日(月)朝、牧草畑にカモシカが出現しました。1955年、国の特別天然記念物に指定されています。植林の減少に伴う低木やササ等のカモシカが好む生息環境の悪化や、近年、高標高域でもニホンジカが急増したことで生息環境の類似したカモシカが追われる形で低標高域へ分散していったことが出現の一因と言われています。



これは、青森県南地域の農業関係高校(三農、名農、七戸)有志職員のチームユニフォームのようなものです。今年は人気ワードである「超農力」をテーマにしました。着用しているのは職員ですが、生徒も職員も「人の命を支える仕事」に携わっていることに自信と誇りを持って取り組んで欲しいと願っています。

San Farm Gallery 2017 Vol.5

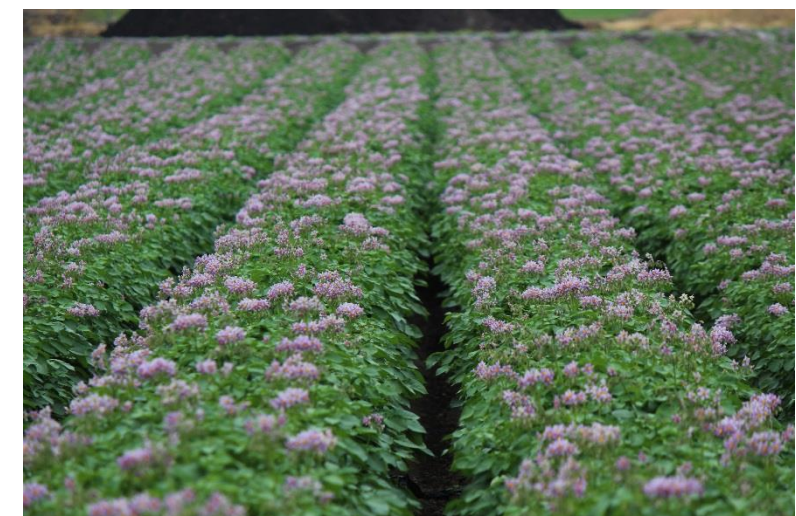
三農の農場に生息する様々な植物や動物は、季節の移り変わりとともに姿や景色を変え、私たちの目を楽しませてくれたり、心をときめかせてくれたりします。San Farm Galleryでは、そんな農場の1コマを紹介します。
三農農場部



牧草(一番草)の刈り取りが終わりました。通常は10aあたり2ロール採れば良い方ですが、今年はそれ以上に採れているようです。しかし、乾燥させるのに3日かかるので、収穫時期の天気には担当者もドキドキハラハラさせられているようです。



キウイフルーツの花です。キウイフルーツは、雄の樹と雌の樹が別々の雌雄異株という性質を持っています。なので、雌の樹だけを植えても受粉できないため、果実が実りません。本校では、雄にトムリ、雌にヘイワードという品種を植えていますが、これは雌のヘイワードの花です。順調に育つと、霜が降る頃に収穫予定です。



ジャガイモのメイクイーンの花です。ジャガイモは、ナス、ピーマン、トマトなどと同じナス科植物です。花の色こそそれぞれ違いますが、形状は星形の合弁花という特徴があります。つまり、例えばトマトやピーマンの花は、花弁が5枚あるように見えますが、全て根元でつながっていて、花弁が1枚だということです。